

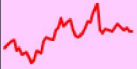
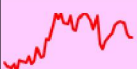
注目ポイント

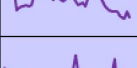
- ✓先週の日経平均株価は大幅に上昇し、1年1か月ぶりに最高値を更新。12日には米中の貿易協議を巡る緊張緩和、13日には米利下げ観測などが好感された。14日には利益確定の売りが出たものの、15日には国内経済の底堅さが意識されて大幅に反発した。一方、ドル円はやや円高ドル安となった。12日に7月の米CPIが市場のほぼ予想通りの結果となり、米利下げ観測が広がったため、ドル売りが優勢となった。ただ14日に7月の米PPIが市場予想を上回るとドルが買い戻された。
- ✓今週の注目は21日～23日に米国で開催されるジャクソンホール会議。パウエル議長が講演で9月利下げに前向きな発言をすれば、ドル売り圧力が強まろう。一方、日本株はこのところ急ピッチで上昇してきただけに、利益確定の売りも出やすいと予想される。ただ、ジャクソンホール会議でのパウエル議長の講演が意識されてFRBの利下げ観測が強まる場合には、日本株にも追い風となろう。(北田英治)

2025年8月11日 ~ 2025年8月15日

市場・指標			8月11日 ~ 8月15日		8月15日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
株式	 日本	日経平均 (円)	43,451	41,248	43,378	+1,558	+3.7%	
	 米国	NYダウ (ドル)	45,204	43,911	44,946	+771	+1.7%	
	 ドイツ	DAX (ポイント)	24,536	23,940	24,359	+196	+0.8%	

市場・指標			8月11日 ~ 8月15日		8月15日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			最高	最低	終値	変化幅(%)	
金利 (国債)	 日本	10年 (%)	1.575	1.485	1.575	+0.090	
	 米国	10年 (%)	4.33	4.20	4.32	+0.03	
	 ドイツ	10年 (%)	2.79	2.65	2.79	+0.10	

市場・指標			8月11日 ~ 8月15日		8月15日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	変化幅(円)	
為替	 米ドル (円)		148.52	146.21	147.19	-0.55	
	 ユーロ (円)		173.02	170.97	172.18	+0.15	
	 豪ドル (円)		96.84	95.52	95.78	-0.58	

市場・指標			8月11日 ~ 8月15日		8月15日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
その他	 日本	東証リート (ポイント)	1,910	1,888	1,898	+2	+0.1%	
	 米国	NY原油 (ドル)	64.44	61.94	62.80	-1.1	-1.7%	
		NY金 (ドル)	3,466	3,376	3,383	-109	-3.1%	

(注) Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成。休日・休場の場合は、その前営業日の値を使用して作成してあります。

②マーケット動向(振り返り&予想)

2025年8月18日 ~ 2025年8月22日

株式

高値圏でのみみ合いか

日経平均
 【予想レンジ】 43,000 円 ~ 44,000 円

- 先週の日経平均は大幅に上昇。12日には米中の貿易協議を巡る緊張緩和が支えとなり、日経平均は1年1か月ぶりに最高値を更新。また13日には前日の米CPIを受けて米利下げ観測が高まり、それを好感した買いが日本株にも入った。14日には利益確定の売りに押されたものの、15日には日本の4~6月期GDPで景気の底堅さが示されたことなどが追い風となり、日経平均は大幅反発。再び最高値を更新した。
- 今週の日経平均は、高値圏でのみみ合いか。これまで急ピッチで上昇してきただけに、利益確定の売りも出やすいと予想される。ただ21日~23日に開催されるジャクソンホール会議でのパウエル議長の講演が意識されてFRBの利下げ観測が強まる場合には、日本株にも追い風となろう。



金利(国債)

もみ合いか

10年国債利回り
 【予想レンジ】 1.530 % ~ 1.610 %

- 先週の国内金利は大幅に上昇。13日には、日経平均の大幅上昇を受けて相対的に安全な資産とされる債券が売られた。14日には、日銀の国債買い入れオペが投資家の売り意欲の強さを示したと受け止められ、中長期債の売りが優勢となった。週末15日には、前日の米長期金利が上昇したことが債券相場の重荷となり、10年国債利回りは1.575%と7月28日以来の高水準をつけた。
- 今週の国内金利はもみ合いか。米国では20日のFOMC議事要旨や、21日~23日のジャクソンホール会議を受けて、FRBの利下げ観測が高まりやすく、この点は米長期金利の低下を通じて国内金利の低下圧力となりやすい。一方、国内では財政拡張への警戒感から債券を買いにくい地合いが続いている。19日の20年物国債の入札が注目材料。



為替(米ドル)

ドル弱含みでのみみ合いか

米ドル/円
 【予想レンジ】 145.00 円 ~ 149.00 円

- 先週のドル円は、やや円高ドル安となった。12日には、7月の米CPIが市場のほぼ予想通りの結果となり、FRBが9月に利下げをするとの観測が広がったため、円買いドル売りが優勢となった。また13日には、バッセント米財務長官が政策金利は「今よりも1.5~1.75%低い水準にあるべきだ」との考えを示したことを受けて、米長期金利が低下し、ドル売りが優勢となった。ただ14日には、7月の米PPIが市場予想を上回る伸びとなり、インフレ懸念の再燃から米長期金利が上昇したため、ドルを買う動きが優勢となった。
- 今週のドル円は、ドル弱含みでのみみ合いか。注目は21日~23日に米国で開催されるジャクソンホール会議。パウエル議長が講演で9月利下げに前向きな発言をすれば、ドル売り圧力が強まろう。



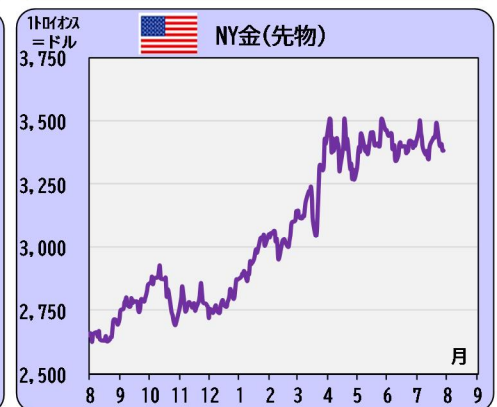
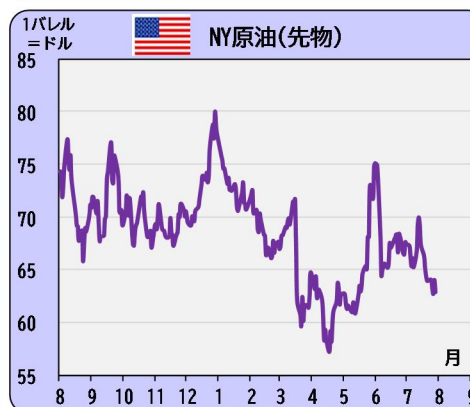
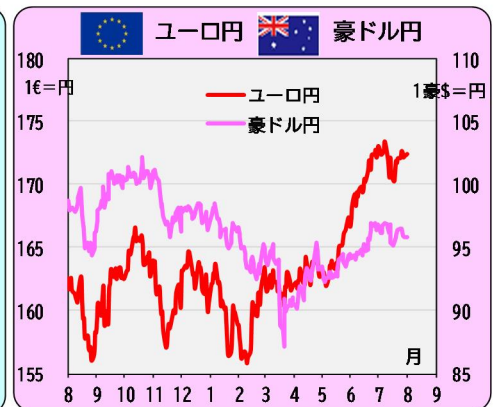
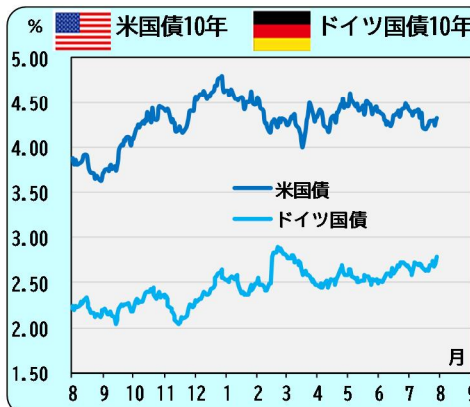
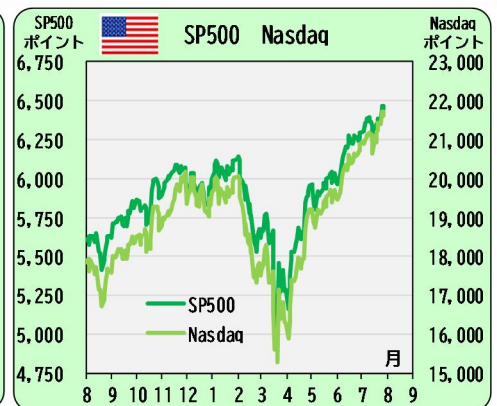
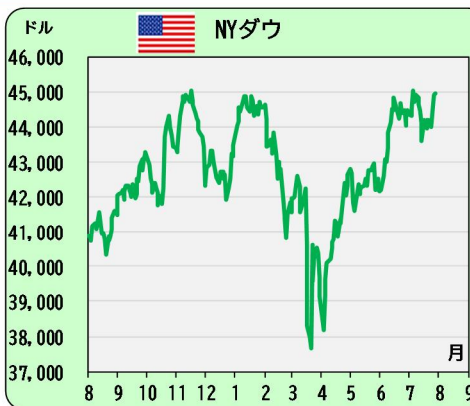
○今週の注目指標 ※内容および日程が変更される場合があります。

月 日	国 内	海 外
8/18(月)	第3次産業活動指数(6月)	
8/19(火)	国債入札(20年)	米国: 住宅着工件数(7月)
8/20(水)	機械受注統計(6月) 貿易収支(7月)	米国: 国債入札(20年) 米国: FOMC議事要旨(7/29~30開催分)
8/21(木)		米国: フィラデルフィア連銀景気指数(8月) 米国: ジャクソンホール会議 (23日まで)
8/22(金)	CPI(全国7月)	



③その他チャート集

直近1年間



※Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成

※頻出英字略称用語一覧

略称	正式名称	略称	正式名称	略称	正式名称
AI	人工知能	FRB	米連邦準備理事会	PBR	株価純資産倍率
CTFC	米商品先物取引委員会	FTA	自由貿易協定	PCE	個人消費支出
CPI	消費者物価指数	GDP	国内総生産	PER	株価収益率
ECB	欧州中央銀行	IMF	国際通貨基金	PMI	購買担当者景気指数
ETF	上場投資信託	IEA	国際エネルギー機関	PPI	卸売物価指数(生産者物価指数)
EU	欧州連合	ISM	米供給管理協会	SQ	特別清算指数
FDI	海外直接投資	OECD	経済協力開発機構	TPP	環太平洋経済連携協定
FF	フェデラルファンド	OPEC	石油輸出国機構	WSTS	世界半導体市場統計
FOMC	米公開市場委員会	OPEC+	OPEC加盟国と非加盟国の枠組み	WTI	ウエストテキサスインターメディアート(原油)

●ご留意事項

- ・本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、発行日午前9時までの情報にもとづく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源にもとづいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。最終的な投資判断はお客さまご自身でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートに関するお問い合わせは浜銀総合研究所・調査部までお願いいたします。